



平成27年度 自己表現検査問題

平成27年 2月17日実施

検査時間 60分（9時20分～10時20分）

注意事項

- 1 開始の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 2 検査用紙・記述用紙に汚れや印刷不鮮明な箇所があった場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
- 3 内容にかかわる質問には、いっさい応じられません。
- 4 筆記用具は、鉛筆またはシャープペンシル、および消しゴムに限ります。マーカーを使用してもかまいませんが、記述用紙に使用してはいけません。
- 5 解答は、記述用紙の決められた欄に、それぞれ設問の指示に従って丁寧に記入しなさい。また、余白を使用してはいけません。
- 6 必要に応じて、別紙「単語集」を使用してもかまいません。
- 7 終了の合図があったら、すぐに記述をやめなさい。

神奈川県立横浜翠嵐高等学校

【課題1】次の文章を読み、各設問に答えなさい。

2014年に世界文化遺産として「富岡製糸場と絹産業遺産群」が認定された。これは2013年に認定された「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」に次ぐものである。また、日本には世界自然遺産として、「屋久島」、「白神山地」、「知床」、「小笠原諸島」が登録されている。これらのものは保存を主な目的としているが、これとやや主旨を異にした「ジオパーク」という考え方がある。これは、大地の成り立ちとしくみに気付き、生態系や人間生活との関わりを考えることに重点を置いたものである。以下の文章は、「ジオパーク」について著した、尾池和夫氏の『四季の地球科学』によるものである。なお、一部、表記、表現などを改めた。

尾池氏は、『四季の地球科学』の中で、「ジオパーク」を、景観を愉しむだけでなく、その場所が生まれた歴史や、育まれている生態系の恩恵を愉しむことのできる「大地の公園」と呼んでいる。彼は、ある地域が「ジオパーク」となるための条件について、次のように述べている。

まず地域の人たちが、地球科学の研究者の指導を得て、地形や地質や地域の歴史や生態を理解し、それらを含む大地の価値を知って、しっかりと保全していること。

次に、子どもたち、特に地域の子どもたちや、よそから来た観光客に、その大地の科学的な価値を、一連の物語として伝えることができること。

三つめには、その地域の大地の仕組みや恩恵を愉しむことができるように、ジオツーリズムを推進していて、地域の持続的な発展にも寄与すること。

そして、日本の大地の特徴について、海外との対比をもとに、次のように述べている。

日本列島の大地は、たいへん細かい構造を持っているのも大きな特徴です。数億年前の古い地質から、比較的最近生み出されたさまざまな地質までが、小さな国土に分布しているのです。少し歩くだけで異なる地質や地形を眺めたり、異なる植物や動物に出会うことができます。私はこの性質を「ジオ多様性」と呼ぶことにしました。1「ジオ (geo-)」とは大地を表す英語の接頭語です。

細かい地質分布や地形は、日本に生まれ育った人々には当たり前と思われていますが、世界的には実は大変珍しいのです。同じ島でも台湾では、一時間以上歩いても同じような^{*1}玄武岩台地が続くので、すっかり歩き疲れてしまったことがあります。大陸の大部分は安定大陸と呼ばれるように、古い^{*2}地塊が大きな変化を受けずに現在に至っています。そのような土地では地震はほとんど起こりません。

続いて、峠という国字を例に、日本の自然と文化について触れている。国字とは漢字の字体にならって日本で作られた文字のことである。

盆地から峠を越えて隣の村へ歩いて行きます。峠は、昔の国境でした。旅の無事を祈る場所で、^{*3}祠がありました。^{*4}結界の役割も果たしていました。峠の語源は「手向け」であると言われます。旅人にとっても、気象にとっても、大きな意味を持つ地形です。渡り鳥にとっても重要なので、バードウォッチングの人たちも峠に集まります。

中国語に峠という文字はありません。つまり日本で作られた文字です。このような文字を国字といいます。²峠のほかにも、畑、辻なども国字です。風に関係して、凧、凧、凧も国字です。

多くの国字には、日本の自然と文化が現れています。それだけでなく、日本列島には隆起する山地があり、たくさんの雨が降って分水嶺に峠が生まれ、そこから周辺の海に豊かな栄養が流れ込んで多様な魚が住み、豊富な水産物が人々に供給される、という連鎖を読み取っていただきたいのです。

さらに尾池氏は、数多くの日本各地の地形や風景、気候や四季折々の風物に加え、それらを詠んだ短歌や俳句なども紹介し、「ジオパーク」の愉しみについて述べている。中でも、地質の複雑さや景観の多様さの代表的な例として、加えて、大地の活用の原点としての日本の登山に関連して、中部地方の日本アルプスについて紹介している。

本州の飛驒山脈、木曾山脈、赤石山脈は、日本アルプスと呼ばれます。

北アルプスと呼ばれる飛驒山脈の谷間、上高地の風景をつくっているのは梓川です。梓川は、河原一面に広がって網状に流れ、10年か20年に一度は大きく氾濫し、流路を変えます。そのたびに、それまでにできていた森林が押し流され、新たな河原ができます。

2012年4月、3立山連峰に氷河があるというニュースが伝わりました。「日本雪氷学会（東京都）は、立山カルデラ砂防博物館（富山県立山町）が北アルプスの立山連峰で見つけた氷体を日本初の『氷河』と確定した。」

（毎日新聞、2012年4月5日）

長野県飯山市に生まれ育った*5小泉さんは、高校一年生のとき苗場山に登って、山的美しさに目覚めたそうです。今、彼は市民や学生と一緒に、ジオとエコのつながりを考えながら山や火山を訪ねる「ジオエコツアー」を行っています。きっと、認定された氷河を訪れるツアーが企画されていることでしょう。

登山というスポーツがヨーロッパから伝わったことから、日本でも高山の風景を愉しむことが始まりました。

4「日本アルプス」という名は、明治政府が化学と*6冶金の技師としてイギリスから招聘したウィリアム・ゴランドによって名づけられ、英国の宣教師、W・ウェストンによって広められたものです。

最後に、「ジオパーク」の活用方法の一つである「ジオツーリズム」の視点について触れ、著書を締めくくっている。

世界自然遺産や世界歴史遺産が、保存を目的の中心にしているのとやや異なっており、ジオパークは、大地をいかに活用するかに重点を置きます。それを表す言葉として、ジオツーリズムがあります。

アメリカのナショナルジオグラフィック協会は、「ある土地の環境、文化、審美性、遺産、住民の福利といった地理的特徴を維持し、向上させる観光である」と説明しています。

単に大地の現象を見るだけでなく、大地を生み出してきた地球の歴史を知り、そこに住み着いた人々の暮らしの歴史までも取り込んで学習できるように整備されていなければなりません。環境を壊さない観光の仕組みを、地元の人たちを中心に実現してほしいものです。

*1 玄武岩＝火山岩の一種。 *2 地塊＝周囲を断崖によって限られた地殻の部分。 *3 祠＝神や祖先をまつる所。

*4 結界＝一定の場所を区切り、その内側を聖域として外側から不浄なものが入らないようにすること。

*5 小泉さん＝小泉武栄。自然地理学者。 *6 冶金＝鉱石から金属を取り出し、精製する技術。

（設問1） 下線部1「ジオ（geo）」とあるが、この接頭語には、大地の他に、地球、地形、地理、土地という意味もある。「ジオ（geo）」を接頭語にもつ語句として、geometry（ジオメトリー：幾何学）がある。大地に描かれた幾何学図形の例として、ペルーの「ナスカの地上絵」が有名である。「ナスカの地上絵」では、描かれた線どうしが互いに交わらないことが知られている。次の問いに答えなさい。

いま、ある大地に引かれた平行線に、円を描き加えることで新たな地上絵を作成するものとする。平行線は10m間隔で無数に引かれているものとし、描き加える円の半径を3mとする。円を無作為に100個描いたとき、円の一部が平行線上に乗らないのは、およそ何個と推測できるか。途中経過もあわせて書きなさい。ただし、線の幅は考えないものとする。

(設問2) 下線部2「峠のほかに、畑、辻なども国字です」について、日本では、「畑」という文字が作られ、「田」と区別がなされているが、中国では、「田」も「畑」も、どちらも「田」の文字で表されている。国字の「畑」は、「火」＋「田」から成り立つ文字で、森林を焼いて土地を切り開き、そのあとに耕作したり、雑草やワラなどを火で焼いて肥料としたことに由来するとされている。中国においても、同じような方法で土地を切り開いたり、耕作を行っているにもかかわらず、「畑」の文字は作られなかった。課題文を参考に、日本で「畑」という文字が作られ、「田」と明確な区別がなされるようになった理由を、句読点を含めて20字以上40字以内で書きなさい。

(設問3) 下線部3「立山連峰に氷河がある」について、図1はヨーロッパアルプスの氷河の本流と支流が合流する地点を撮影したものである。また、図2-aは氷河に覆われていたところを模式的に示したものであり、図2-bは氷河が消失した後の地形を模式的に示したものである。

図1



(スイス公共放送協会国際部ホームページより)

問A 図2-b中の地点X'、Y'、Z'のうち、地点Y'の標高が最も低くなる理由を書きなさい。

問B 図2-b中の地点Z'の標高が、氷河に覆われていたときの標高(図2-aの地点Zの標高)より高くなる理由を書きなさい。

図2-a

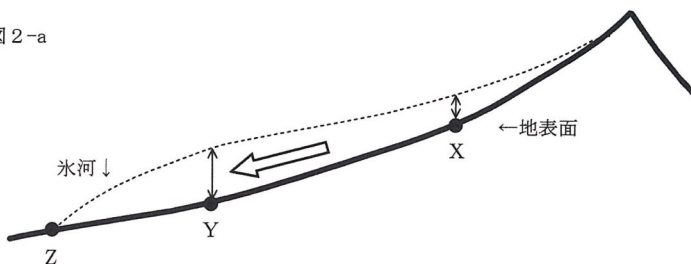
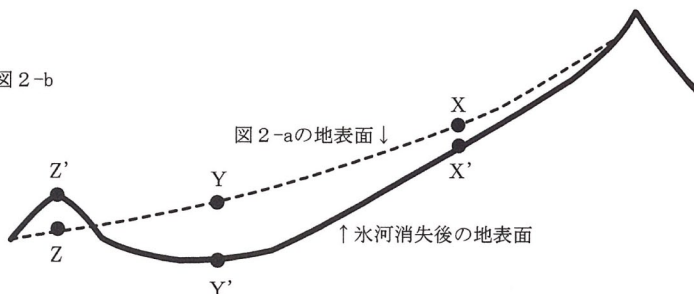


図2-b



注：図1、図2-a中の太い矢印は、氷河の流れる方向を示している。

(設問 4) 下線部 4 『日本アルプス』という名は、明治政府が化学と冶金の技師としてイギリスから招聘したウィリアム・ゴーランドによって名づけられ、英国の宣教師、W・ウェストンによって広められたものです」にある「W・ウェストン」は、1888年(明治21年)に来日し、日本アルプスなどの山および当時の日本の風習を世界中に紹介した登山家でもある。次の英文は、彼の著書『日本アルプス再訪』において、日本山岳会が出版した『登山の注意』というパンフレットについて言及している部分である(一部、表記、表現などを改めた)。ここでウェストンは、尾池氏の提唱する「ジオパーク」、「ジオツーリズム」のあり方に通じる考え方を述べている。以下の問A、問Bに答えなさい。

"*Tozan no Chui*" resembles the pamphlet published by a special committee of the English Alpine Club some years ago. We can learn about the goods for people who climb mountains. It has a lot of unique and original advice for mountain climbers who are inexperienced but enthusiastic. It points out the dangers in the higher mountains like bad weather, avalanches, falling stones, and sudden thunderstorms, so we can learn how to avoid these dangers successfully. It says Western clothing is better than Japanese clothing for active climbing. We can also learn about suitable foods for climbers under the unique conditions of the Japanese mountains.

According to the pamphlet, we should clear up the place we used even after a bivouac. We should take good care of nature, and people who come next can feel comfortable. This is very important advice and we have to follow it.

At the end of the pamphlet, there is an interesting difference between the special characteristics of the Japanese Alps and the Alps in Switzerland, and it says that many accidents happen in the mountains both in Switzerland and in Japan. In Switzerland, climbing mountains is dangerous because the slopes are too steep and there is the glacial zone with permanent snow and ice. In Japan, many accidents in the mountains happen because the weather is so unpredictable and changeable.

問A 下線部に述べられた内容に似た意味を持つ日本語のことわざを書きなさい。

問B 本文中の空欄に、日本の山に登るときの注意事項として考えられることを、あなたが次の英文のようにして書くとするどどのような文を入れればよいか。下に示した英文の下線部に、5語以上15語以内の英語で答えなさい。ただし、短縮形(I'm や don't など)は1語と数え、符号(, や ? など)は語数に含めない。

So if we climb mountains in Japan, we should _____.

【課題2】次の文章を読み、各設問に答えなさい。

よく「シンプル・イズ・ベスト」や「シンプルライフ」という言葉が使われるように、「シンプル」ということが一つの概念として定着している。デザイナーの原研哉氏はその著書『日本のデザイン』の中で、この「シンプル」について次のように論じている。なお、一部、表記、表現などを改めた。

シンプルという言葉がよく使われる。すっきりしていて潔い風情か、あるいは簡潔でまとまりのいい状況を指し、大概においては良い意味に用いられることが多い。

しかし、この「シンプル」という言葉、あるいは概念はいつ生まれたのであろうか。つまり、価値観や美意識としての「シンプル」が社会の中に良好な印象として定着したのはいつのことだろうか。誤解を恐れずに言うなら、シンプルは百五十年ほど前に生まれたのだと僕は考えている。何の根拠があつてそう考えるのか、少し話をしてみたい。

ものづくりがまだ複雑ではなかった頃、すなわち人類がまだ複雑な^{*1}意匠や紋様を生み出す以前、物はシンプルであつたのだろうか。たとえば、石器時代の石器はそのほとんどが単純な形をしている。物の見方としてこれを「シンプル」と形容することもできる。しかしながら、それをつくった石器時代の人々は、これらを決してシンプルとは捉えていなかったはずである。なぜなら、シンプルという概念は、それに相対する複雑さの存在を前提としているからである。初期の石器は確かに比較的単純な形をしているように思われるが、当人たちは、簡素さや^{*2}ミニマルを志向してその形をつくっていたわけではない。複雑な形を作り得ない状況での単純さは、シンプルというよりプリミティブ、すなわち原始的、原初的と呼ぶべきである。つまりシンプルとは、複雑さや¹冗長さ、過剰さとの相対において認識される概念である。そう考えると、シンプルは、長い人類史のずっと後の方まで、その登場を待たなくてはならない。

人間のつくり出す物はプリミティブから複雑へと向かう。文化は複雑から始まった。こう極論できるかと思われるほどに、現存している人類の文化遺産は複雑である。たとえば青銅器。中国古代王朝の^{*3}殷の遺跡、殷墟から出土した青銅器はいずれもとても複雑な形をしている。造形の順序としては簡素から複雑へとゆるやかに段階的に進化していきそうなものだが、簡素な形をした青銅器は、殷以前の^{プリミティブ}原初的な段階を除くとほとんど見あたらない。中国の青銅器は、その端緒から複雑な形をなし、精緻な紋様でその表面が覆われていた。注ぎ口や把手が大仰にできているのみならず、微細な渦巻き紋様によって表面が覆い尽くされていた。これはなぜだろうか。

青銅とは銅と錫の合金で、錫を混ぜることで沸点が下がると同時に硬くなる。他の古代文明に比べると中国は比較的青铜を手にするのが遅いが、それにしても当時のハイテク素材である。鑄型に溶かした青銅を流し込んで固める技術は、今日においてすら簡単ではない。おそらく高度に熟練した職人や技術者が、驚くべき集中力と時間を費やさなくては達成できない成果として青銅器はあつたはずで、それがことさら複雑な紋様に覆われているということは、複雑さが明確な目的として探求されたことを示している。別の見方をすれば、極めつきの精緻と丹精を可能にする「強い力」がそこに表現されていると推測される。大きな青銅器は持ち上げることもできない。つまり、実用のためではなく、畏敬の対象となる力の表象として示されたわけで、これを単純に「祭器」などという言葉で片付けてはいけない。

およそ人間が集まって集団をなす場合、それが村であれ国であれ、集団の結束を維持するには強い求心力が必要になる。中枢に君臨する覇者には強い統率力がなくてはならず、この力が弱いと、より強い力を持つ者に取って代わられたり、他のより強力な集団に吸収されてしまったりする。村も国も、²回転する独裁のような存在である。回転速度や求心力がないと倒れてしまう。複雑な青銅器は、その求心力が、目に訴える形象として顕現したものと想像される。普通の人々が目の当たりにすると、思わず「ひょええ」と畏れをなすオーラを発する複雑・絢爛な^{*4}オブジェクトは、そのような暗黙の役割を担ってきた。

殷周の王朝を経て^{*5}春秋戦国時代に入ると中国では複数の国々が群雄割拠する状況を迎えた。少しでも油断するとすぐに隣国に侵略されてしまう。したがって王は^{*6}英邁、宰相は知略に長け、兵は強く統制がとれている必要

があった。この緊張感は諸子百家の英知を生み出す契機を生んだと言われている。青銅器の上には、文字がびっしりと鑄込まれるようになり、装飾は武具や甲冑^{かっちゅう}にも及び、見るものに畏怖を与える豪壮・絢爛・怪奇なる様相が生まれた。竜の紋様などはこの需要にこたえる最適のものである。というよりも、殷の時代に、青銅器の表面にびっしりと刻み込まれていた渦巻き紋様は、その紋様の進化の途上で、頭や手足を持つ架空の動物に見立てられ、竜として生成したように見える。つまり竜とは、文学的な逸話から想起される怪獣を絵師が腕をふるって描いたものではなく、宗教から派生したものでもない。物の表面に偉容をなす細部を付与するための装飾紋様が動物化したと考えるべきである。物の表面を覆い尽くすその*⁷稠密性^{ちゆうみつせい}によって威を発することを目的に生まれてきたのであるから、有機的な形の表面にも円柱の表面にも、竜は難なく巻き付き覆い尽くしていく。

同じようなことが、隣接するイスラム文化圏にもみることができる。偶像を否定するイスラムにおいては、竜のような具象物はない代わりに、幾何学紋様や唐草文様が異常なる発達を見せ、王宮やモスクの空間をびっしりと埋め尽くしている。

ヨーロッパにおいても、絶対君主の力が最も強かった時代、*⁸ルイ十四世^{ルイ14世}が君臨していた時代には、*⁹バロックやロココといった装飾をとめどなく*¹⁰横溢^{おういつ}させる様式が絶頂を極めていた。ヴェルサイユ宮殿の鏡の間は、謁見の間であったと言われているが、実際に赤い絨毯の上を歩いて、正面に座す王に謁見する情景を想像すると身のすくむ思いがする。これは僕の肝が小さいからではない。強大な力の表象としての鏡の間が人に与える威圧とはそういうものだったはずだ。

世界が「力」によって統治され、「力」がせめぎ合って世界の流動性をつくっていた時代には、文化を象徴する人工物は力の表象として示された。力は人の世界に階層を生み出し、王や皇帝を頂点とする力の階層は、紋様や絢爛さの階層をも生み出し、そのような環境下では、簡素さは力の弱さとしてしか意味を持ち得なかった。

3しかしながら、決定的な変化が近代という名のもとにもたらされる。いわゆる近代市民社会の到来である。その流れに即して、物は「力」の表象である必要がなくなった。

*¹¹モダニズムとは、物が複雑からシンプルに脱皮するプロセスそのものである。富や人々の欲望は往々にしてものごとの本質を覆い隠す。人々は時にシンプルな探求に

*¹²倦^うんで、*¹³放蕩^{ほうとう}へと傾きがちである。しかし目を細めて骨格を見通すなら、世界はシンプルという中軸をたずさえて、この瞬間も動き続けているのである。



ルイ14世のひげ掛け椅子
(エルコ「シーティング」HPより)



現代のパイプ椅子
(イスのサンケイ HPより)

- *1 意匠=デザイン。 *2 ミニマル=最小限の。 *3 殷=前16世紀～前11世紀。殷の次の時代が周（前11世紀～前3世紀）。 *4 オブジェクト=物体。 *5 春秋戦国時代=紀元前770～紀元前221。この時代には、孔子や孟子など、諸子百家といわれる多くの思想家が登場した。 *6 英邁=才知がぬきんで優れていること。 *7 稠密性=多く集まっている性質。 *8 ルイ十四世=フランス国王。ヴェルサイユ宮殿を造営したことでも知られる（在位1643～1715）。 *9 バロックやロココ=16世紀後半～18世紀前半にヨーロッパで流行した芸術様式。 *10 横溢=あふれること。 *11 モダニズム=近代主義。 *12 倦=飽きて。 *13 放蕩=思うとおりに振る舞うこと。

（設問1） 下線部1「冗長さ」について、「冗長」とは本来、「無駄が多くて長いこと」という意味である。一方で、デジタル情報の保存や伝送時に、「冗長符号」と呼ばれるデータを付加しておくことで、データの破損を検出・復元する技術がある。その一例を次の手順①～⑥にしたがって考える。

- ① 0と1が8個並んだデータ[A, B, C, D, E, F, G, H]（A～Hは0か1のいずれかを表す。これを「8ビットのデータ」という。）を送りたい。このデータを次の図1のように長方形状に並べる。

図 1

	1 列目	2 列目	3 列目	4 列目	5 列目
1 行目	A	B	C	D	P
2 行目	E	F	G	H	Q
3 行目	R	S	T	U	X

- ② 1 行目の A ～ D の中にある 1 の個数が偶数個であれば P を 0 に、奇数個であれば P を 1 にする。同様に Q も 0 か 1 に決める。このとき、1, 2 行目の各行にある 1 の個数はそれぞれ偶数個となる。
- ③ 1 列目の A, E の中にある 1 の個数が偶数個であれば R を 0 に、奇数個であれば R を 1 にする。同様に S, T, U, X も 0 か 1 に決める。このとき、1 ～ 5 列目の各列にある 1 の個数はそれぞれ偶数個となる。
- ④ このとき、3 行目 R, S, T, U, X の中にある 1 の個数は偶数個となる。
- ⑤ 以上のようにして決めた冗長符号 P ～ U, X (図 1 の網掛け部分) を A ～ H に付加し、15 ビットのデータ [A, B, C, D, E, F, G, H, P, Q, R, S, T, U, X] として伝送する。
- ⑥ 受信側ではすべての行と列について、それぞれの中にある 1 の個数が偶数個になっているかを確認する。奇数個になっている行または列があった場合は、受信データに誤りがあることになる。

①～⑥の手順に基づいて、次の問 A、問 B に答えなさい。

問 A 手順④に下線部「3 行目 R, S, T, U, X の中にある 1 の個数は偶数個となる」とあるが、その理由を説明しなさい。

問 B 受信した 15 ビットのデータが、[0, 1, 1, 0, 1, 1, 1, 1, 0, 1, 1, 0, 1, 1, 1] であったとする。これを図 1 のように長方形状に並べると、1 の個数が奇数個になっている行と列があるため、受信データが誤っていることがわかる。誤っているデータが 1 ビットだけであると仮定して、正しい 8 ビットの元データを復元しなさい。

(設問 2) 下線部 2 「回転する独楽」とあるが、コマ (独楽) は回転させなければ倒れ (図 2-a)、ある程度の速さで回転させておくと倒れない (図 2-b)。それは、コマに、回転していることによりその回転軸の向きが変わらないように保つはたらきがあるからである。

図 2-a

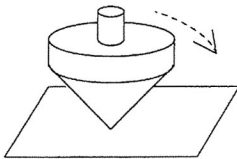
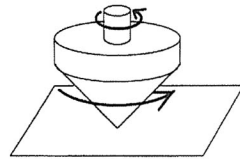


図 2-b



問 A 回転していることによりその回転軸の向きが変わらないで保たれる例を、この他に 2 つ 答えなさい。ただし、「回転するコマ」のように具体的に書きなさい。

問 B 物体の回転を単純化して考える。伸縮可能な棒がある。この棒の両端に質量の等しい 2 つの物体を取り付け、棒の中点 O を中心に回転させると、2 つの物体は円を描く。回転している間に、O を中心に棒の長さを 2 分の 1、3 分の 1、4 分の 1、……に縮めると、物体の速さは、それぞれ 2 倍、3 倍、4 倍、……になった。いま、円の半径を r 、物体の速さを v とし、棒の長さが a のときの物体の速さを b として、 r 、 v 、 a 、 b の間に成り立つ関係式を式で表しなさい。

(設問 3) 下線部 3「しかしながら、決定的な変化が近代という名のもとにもたらされる」とあるが、筆者は、「近代市民社会の到来」によって、物がシンプルに変化していった、と述べている。それでは「近代市民社会」になるとなぜ物がシンプルに変化したのか。課題文および次の年表を参考にして、2点説明しなさい。

年 代	事 項	国 名	内 容
17世紀	ピューリタン革命	イギリス	チャールズ 1 世の専制政治に反対したピューリタン（清教徒）を中心とする議会派が国王を処刑して、共和政国家を樹立した。
	名誉革命	イギリス	ピューリタン革命後、国王が復活したが、議会が国王を追放。権利宣言と権利章典が認められ、立憲君主制が成立した。
18世紀	アメリカ独立宣言	アメリカ	イギリスの植民地であったアメリカの人民が独立を宣言。共和政国家を樹立した。
	フランス革命	フランス	国王・大貴族中心の政治に不満な商工業者・農民・民衆らが立ち上がり、自由・平等・人民主権などをうたう人権宣言を発表した。
18世紀 → 19世紀	産業革命	イギリス から各国 へ	まずイギリスで機械化や技術の革新がもたらされ、生産力が著しく増大し、工業製品が大量に作られるようになった。それに伴い、人口が増加し、都市の発達を促して、やがて各国で資本主義社会が成立した。

(設問 4) この文章に書かれている内容を、あなたがアメリカにいる姉妹校の友人に英語で説明しようとする場合、適するものを次の英文ア～キの中から 2つ 選び、記号で答えなさい。

ア In the Stone Age, people didn't create stone tools based on the concept of "simplicity".

イ The design of the bronze ware from the Chinese Yin Era became simple because its value of art decreased.

ウ A dragon was liked as a pattern for the bronze ware because it has religious mystique.

エ A complicated design was important for ancient monarchs to show their power to the people at that time.

オ In the past, the tools with a complicated design have value only as an artwork because they are not often used in everyday life.

カ Modern people are weary of "simplicity", so they will not make simple tools in the future.

キ Now the design of tools is becoming simple, so we can say that designs are going back to the primitive age.

問題は以上で終わります。

単語集

A	accident	事故
	according	
	according to ~	～によると
	active	
	active climbing	本格的な登山
	advice	助言
	Alps	アルプス
	ancient	古代の
	artwork	芸術作品
	avalanches	雪崩
	avoid	～を避ける
B	base	
	based on ~	～に基づいて
	bivouac	緊急避難
	both	
	both ~ and ...	～と…の両方
	bronze ware	青銅器
C	changeable	変わりやすい
	characteristic	特徴
	Chinese	中国の
	clear	
	clear up ~	～を片づける
	climb	～に登る
	climber	登山者
	clothing	衣服
	comfortable	心地よい
	committee	委員会
	complicated	複雑な
	concept	概念
	condition	状況
	create	～を作る
D	danger	危険
	dangerous	危険な
	decrease	さがる
	design	デザイン
	dragon	竜
E	end	最後
	English Alpine Club	英国山岳会
	enthusiastic	情熱的な
	everyday	毎日の

F	falling stone	落石
	follow	～に従う
G	glacial zone	氷河地帯
	goods	装備
H	happen	起こる
I	ice	氷
	inexperienced	未熟な
M	monarch	君主
	mystique	神秘性
N	nature	自然
O	original	独自の
P	pamphlet	パンフレット
	past	過去
	pattern	紋様
	permanent	半永久的な
	point	
	point out ~	～を指摘する
	power	権力
	primitive age	原始時代
	publish	～を出版する
R	religious	宗教的な
	resemble	～に似ている
S	simple	シンプルな
	simplicity	シンプル
	slope	斜面
	steep	険しい
	stone	石
	Stone Age	石器時代
	successfully	うまく
	sudden	突然の
	suitable	ふさわしい
	Switzerland	スイス
T	thunderstorm	嵐
	tool	道具
U	unique	独特な
	unpredictable	予測できない
V	value	価値
W	weary	
	be weary of ~	～に飽きている
	Western	西洋の
Y	Yin Era	殷時代